



家族経営協定で ステップアップ！ 家族みんなの経営は「話し合い」から

標茶町家族経営協定推進プロジェクトチーム

魅力的な農業経営を築くには、農業に携わる家族全員が意欲とやり甲斐を持って経営に参画し、その能力を発揮することが重要です。家族経営協定は、その環境をつくる手段の一つです。

1 家族経営協定とは？

経営目標を明確にし、その実現に向けた具体的な取り組みを家族で話し合い、共有化を図って実践していくものです



あいまいにせず、具体的に！
経営方針や営農計画、役割分担
収益の分配、働きやすい就業条件
将来の経営移譲など…

2 協定のねらいは？

家族の働きやすい環境づくり

個人の役割の明確化、意欲的な経営参画

持続性の高い健全な経営の確立

後継者の育成と円滑な経営継承



4 協定に取り組むと？



- その1** 家族一人ひとりが抱える不安や悩みを家族間で理解し共有できます
- その2** 家族みんなで問題を解決するために、ルールや目標をつくることができます
- その3** 実行あるのみ！“やる気”が出てきて目標の一つひとつが実現します！
- その4** 家族の距離感がグーッと縮まり、思いやりと絆がさらに深まります！

3 協定作成の手順は？



個人
家族の話し合い
調印式

個々の不安や悩みを出し合う
(個別に意向チェック表を活用)

家族で問題点を確認する
(個別チェック表を家族一覧に)

生活・経営目標を決める
実効に向け約束事を整理する
(家族経営協定書の作成)

関係機関立会により、実行を決意し家族で実践していく

締結後…家族の状況に応じて見直しをする



立会人を前に捺印



協定締結の記念写真

平成17年度～現在 締結戸数 19戸

- ◆ 経営主一妻 4戸
- ◆ 経営主一妻一後継者 5戸
- ◆ 経営主一妻一後継者一後継者妻 10戸
(平成26年末調べ)



締結家族6組の調印式

かぞプロは「家族の話し合い」を大切にしています！

- ◆ H16年に標茶町農業振興会議の家族経営協定部会活動として家族経営協定推進プロジェクトチーム(かぞプロ)を設置
- ◆ 構成員は、農業委員会、JA、町、普及センターの4機関
- ◆ 「青い鳥＝幸せを運ぶ鳥」をシンボルに、家族の話し合いを重視した、家族経営協定の作成と実践をお手伝いします

